

# い い き

第 65 号



## 目次

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 令和8年度後期講座案内・・・・・・・・・・・・・・・・  | 1  |
| 理療・医療に関する情報収集の注意とヒント・・・・     | 9  |
| 新着図書紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 11 |
| 各種お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 12 |

令和8年9月

北海道札幌視覚支援学校附属理療研修センター

# 令和8年度後期講座案内

## 令和8年度 研修講座メインテーマ 『あはき師の未来を創る』

ご 挨 拶

「手を当てる」価値を、地域へ、そして未来の医療へ

北海道札幌視覚支援学校附属理療研修センター

所長 井 上 敬

いつも当センターの活動にご理解と温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。今年度、当センターは「あはき師の未来を創る」というメインテーマを掲げ、春から様々な研修講座を重ねてまいりました。5月の「手指鍼」に始まった前期の講座は、多様なアプローチを通じて「手を当てることから始まる価値観」を再確認する場となりました。また、「北海道マラソン 2026」におけるボランティアマッサーでは、多くのあま指師のみなさまにご参加いただき、走り終えたランナーの心身に寄り添う素晴らしい実践の場となりました。

こうした活動を通じて見えてくる「あはき師の未来」とは、決して治療院の中だけに閉じられたものではありません。現代社会が抱える慢性疾患やストレス、難治疾患による憂いに対して、私たちはスポーツ、介護、そして緩和医療をはじめとする多様な現場へ進出し、他の医療・介護職種と手を取り合いながら地域医療の一翼を担っていくことが求められています。

後期の講座では「がん緩和医療における鍼灸手技治療」や「精神疾患と鍼灸治療」など、現代社会の要請に応えるより専門的なテーマへと踏み込んでまいります。さらにこれ以降の講座においても、みなさまがそれぞれの地域で代替不可能な役割を果たし、あはき師としての可能性をさらに広げていただくための道標となると確信しております。時代の変化を恐れず、しかし私たちが持つ「手当て」の本質を見失うことなく、視野を広げて共に学び続けてまいりましょう。

本号が、みなさまの計画的かつ継続的な研修、そして日々の臨床を豊かにする一助となれば幸いです。

今後とも理療研修センターをどうぞよろしくお願い申し上げます。



# I 受講のご案内

## 1 受講申し込み・受付

- (1) 受講申し込みの開始は、各講座の2カ月前の1日からです。定員となり次第、受付を終了いたしますので、できるだけお早めにお電話・メールにてお申し込みください。お申し込みの際は、氏名、使用文字（普通字・点字）、免許（あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう）、電話番号をお伝えください。
- (2) 講座直前のお申し込みの場合、資料をご用意できない場合がございます。
- (3) 受講をキャンセルされる場合は必ずご連絡ください。
- (4) 土曜・日曜開催の講座は、両日同じ内容を行います。受講はどちらか1日とさせていただきます。
- (5) 講座開始 15 分前までに受付・入室してください。

## 2 日程

### (1) 土曜日

|                 |                    |                       |        |
|-----------------|--------------------|-----------------------|--------|
| 12:30～<br>12:50 | 12:50～<br>13:00    | 13:00～<br>16:00       | 16:00～ |
| 受 付             | 開 講 式<br>オリエンテーション | 講 義<br>実 習<br>(休憩を含む) | 閉 講 式  |

### (2) 日曜日（センター指導員による講座）

|               |                    |                       |        |
|---------------|--------------------|-----------------------|--------|
| 9:00～<br>9:20 | 9:20～<br>9:30      | 9:30～<br>12:30        | 12:30～ |
| 受 付           | 開 講 式<br>オリエンテーション | 講 義<br>実 習<br>(休憩を含む) | 閉 講 式  |

### (3) 日曜日（外部講師による講座）

|               |                    |                |                 |                 |        |
|---------------|--------------------|----------------|-----------------|-----------------|--------|
| 9:00～<br>9:20 | 9:20～<br>9:30      | 9:30～<br>11:30 | 11:30～<br>12:30 | 12:30～<br>14:30 | 14:30～ |
| 受 付           | 開 講 式<br>オリエンテーション | 午前の部           | 昼 食<br>休 憩      | 午後の部            | 閉 講 式  |

### 3 その他

- (1) 講師の承諾が得られた場合、視覚に障害のある方がメモのために録音機器を使用することができます。なお、写真・録画撮影は禁止です。
- (2) 講座資料は受講される方に1部ずつ配付します（普通字・点字・両方）。また、テキストデータを希望される場合、講師の承諾に応じて対応いたします。
- (3) 講座資料の複製ならびに SNS 等への転載は禁止です。
- (4) 受講中は、携帯電話等から音が出ないように設定してください。
- (5) 実技を行う講座では、適した服装で受講してください。
- (6) 外部講師による講座の際には昼食を斡旋します。お申し込みの際に希望の有無をお知らせください。なお、注文・キャンセルの受付は講座直前の木曜日、12 時までの期日厳守です。それ以降にキャンセルされた場合は、後日代金をお支払いください。
- (7) ゴミは各自でお持ち帰りください。
- (8) 講座案内（隔月発行）をメールにて配信しております。希望される方は送信先のメールアドレスをお知らせください。
- (9) 申し込み時にお聞きした個人情報は、講座に関すること以外には使用しません。
- (10) 上履きをご持参ください。
- (11) 受講の際、必要な方には取得単位を明記した受講証書を発行いたしますので、お申し込みの際にお知らせください。

## Ⅱ 後期研修講座計画

令和9年1月31日（日）と2月14日（日）の講座は、Zoom 配信も同時に行います。詳しくはホームページ、電話等でご確認ください。

### 【令和8年】

| 月  | 日     | 曜日  | テーマ                | 講 師      |
|----|-------|-----|--------------------|----------|
| 10 | 4     | 日   | 小児はりの実際            | 枝元 直正 先生 |
|    | 25    | 日   | がん緩和医療における鍼灸手技治療   | 堀口 葉子 先生 |
| 11 | 15    | 日   | ウェルビーイングを支える施術者の役割 | 中根 一 先生  |
|    | 29    | 日   | 精神疾患と鍼灸治療          | 石井 弦 先生  |
| 12 | 12・13 | 土・日 | めまいに対するアプローチ       | センター指導員  |

【令和9年】

|   |       |     |                                         |          |
|---|-------|-----|-----------------------------------------|----------|
| 1 | 16・17 | 土・日 | 関節疾患に対する運動療法                            | センター指導員  |
|   | 31    | 日   | (午前) 地域で活躍するあはき師になるために～訪問事業・チームケアの実践から～ | 松橋 良 先生  |
|   |       |     | (午後) 施術者として知っておきたいハラスメント対策              | 伊藤 昇平 先生 |
| 2 | 14    | 日   | (午前) 鍼灸はなぜ効くのか、鍼灸治療の未来                  | 村上 正晃 先生 |
|   |       |     | (午後) 脳血管障害の最新治療とリハビリテーション               | 齊藤 正樹 先生 |

### Ⅲ 地域研修講座計画

| 月  | 日  | 曜日 | 地域 | テーマ                | 講師      |
|----|----|----|----|--------------------|---------|
| 10 | 25 | 日  | 函館 | 頸部及び胸郭上部の局所解剖と臨床症状 | センター指導員 |
| 11 | 7  | 土  | 帯広 | めまいに対するアプローチ       | センター指導員 |
|    | 8  | 日  | 帯広 | 頸部及び胸郭上部の局所解剖と臨床症状 | センター指導員 |
|    | 15 | 日  | 札幌 | ウェルビーイングを支える施術者の役割 | 中根 一 先生 |

※11月7日は、十勝三療研修会として開催いたします。

※詳細につきましては、ホームページまたは同封の案内をご覧ください。

### Ⅳ 後期講座紹介

## ■10月4日（日）

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師対象

## 『小児はりの実際』

講師：枝元鍼灸院 院長 <sup>えだもと</sup>枝元 <sup>なおまさ</sup>直正 先生

小児は成人とは異なり、身体組織や免疫システムなどが未成熟であり、また外部からの影響も受けやすい状態です。そのため、現代の様々な環境の変化や生まれ持った

体質、成長過程での身体の変化などから、不調を訴える、または親が不調を心配する場面は多いと考えられます。しかしながら、小児は施術による刺激に敏感であり、正しい知識・技術のもとに治療を行うことが必要です。

そこで今回は、過去にも当センターで東洋医学鍼灸をテーマにご指導いただき、さらに小児はりの実践も多数行っておられる枝元先生をお招きし、小児はりの概要から実際の施術法についてご教授いただきます。

## ■10月25日（日）

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師対象

### 『がん緩和医療における鍼灸手技治療』

講師：国立がん研究センター中央病院 緩和医療科 鍼灸室

にこ 仁居治療院 院長 ほりぐち ようこ 堀口 葉子 先生

現在、がんは日本人の2人に1人が罹患すると言われ、今後もその割合は増加すると考えられます。そのような状況で、がんによる様々な症状や、抗がん剤治療の副作用、緩和ケアにおける関わりなど、あはき師が担う役割はより大きくなると予想されます。

がんの種類は幅広く、その症状や治療による副作用には個人差があり、それぞれの状態に応じた治療、ケアに関する知識が重要となります。

そこで今回は、国立がん研究センターで闘病する患者に寄り添いながら、施術を行っている堀口先生をお招きします。化学療法誘発性末梢神経障害を中心に、普段担当されている症例のご紹介に加え、てい鍼や運動鍼をはじめとした鍼灸手技治療及び患者への寄り添い方などについて、ご教授いただきます。

## ■11月15日（日）

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師対象

### 『ウェルビーイングを支える施術者の役割』

講師：鍼灸 Meridian 烏丸 代表 なかね はじめ 中根 一 先生

SDGs が国連で採択されてから 10 年。近年、「ウェルビーイング（心身ともに健康で幸福な状態）」が世界的に注目されています。

患者の様々な声に耳を傾け、身体的な側面だけではなく、精神的・心理的な健やかさをも目指す東洋医学は、このウェルビーイングを支える上で非常に重要な役割を担うと考えられます。

そこで今回は、患者のウェルビーイング、そして私たちあはき師自身のウェルビーイングにも焦点を当て、精力的に活動をされている中根先生をお招きし、ウェルビーイングの概念に加え、今後ますます必要とされるあはき師の役割についてお話しいただきます。さらに、中根先生が実践されている経絡治療を活用した優しい施術についてもご指導いただきます。

## ■11月29日（日）

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師対象

### 『精神疾患と鍼灸治療』

講師：はりとお灸 日月堂 院長 いしい げん 先生

社会環境の大きな変化や様々なストレスに晒される現代では、うつ病をはじめとした様々な精神疾患に罹患する人は少なくありません。

そのような患者ひとりひとりに対し、幅広い視野で診療を行うとともに、対話する時間を持つことのできるあはき師は、とても重要な役割を担っています。

そこで今回は、神奈川県立精神医療センターでうつ病を中心とした精神疾患の方への鍼灸治療を実践しておられた石井先生をお招きし、精神疾患に対する治療として行ってこられた長野式&キー子スタイルでの施術法について、ご指導いただきます。

## ■12月12日（土）・13日（日）

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師対象

### 『めまいに対するアプローチ』

講師：センター指導員

めまいは日常生活の質を大きく損なう症状のひとつであり、その背景には自律神経の乱れ、循環障害、耳鼻科的要因など多岐にわたる原因が存在します。臨床の現場においても、めまいを訴える患者さんの対応に苦慮することがあるのではないのでしょうか。

本講座では、まずめまいの病態を整理しながら、理療治療による具体的なアプローチ方法を解説します。さらに、症状の軽減や再発の予防を目指した効果的な生活指導のポイントについても取り上げ、明日からの臨床に直結する実践的な知識を提供します。

# ■令和9年1月16日（土）・17日（日）

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師対象

## 『関節疾患に対する運動療法』

講師：センター指導員

肩関節、股関節、膝関節疾患の病態生理に基づいた運動療法を、最新のエビデンスに基づいて体系的に学びます。普段の治療に取り入れることで施術効果の維持や機能回復に役立ててみませんか？

# ■1月31日（日）

（ZOOM 配信も予定しています）

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師対象

## （午前）『地域で活躍するあはき師になるために

## ～訪問事業・チームケアの実践から～』

講師：株式会社スマイルクリエーション 副社長 <sup>まつはし</sup>松橋 <sup>りょう</sup>良 先生  
株式会社アシスト 代表取締役 <sup>おおうえ</sup>大上 <sup>きよてる</sup>清輝 先生

超高齢社会であり、多様性社会でもある現在、様々な症状や事情を抱える方々に対応できるあはき師が求められています。そのような状況で、それぞれの強みを活かし、地域の健康を支えるあはき師の存在も大きなものとなっています。

そのため、法的制度や患者のニーズ、医師やケアマネージャーをはじめとしたメディカルと連携したチームケアなど、様々な知識が必要となります。

そこで今回は、訪問鍼灸マッサージネットワーク発起人であり、多くの治療院事業の新規開設や運営に携わってこられた松橋先生をお招きします。さらに、訪問鍼灸マッサージの現場に長く携わり、施術者、管理者、経営者それぞれのご経験をお持ちの大上先生をお招きします。

お二人には、地域におけるチームケアを中心に、訪問事業を始めるにあたっての知識や、情報発信（ホームページ、SNS など）の基本知識についてお話しいたします。

## (午後)『施術者として知っておきたいハラスメント対策』

講師：西 11 丁目法律事務所 <sup>いとう</sup>伊藤 <sup>しょうへい</sup>昇平 先生

日々の臨床に際し、ただ施術をするだけではなく、患者への配慮を欠かさずに、不快な思いをさせないこと、誤解を与えないことも重要です。それらの点がおろそかになってしまうと、セクハラやパワハラ、カスハラなどの患者、同僚とのトラブルにつながるリスクが高くなると考えられます。

その予防のためにも、様々なハラスメントに関する概要や配慮する点などについての知識を深めることは、今後ますます重要となります。

そこで今回は 医療・福祉分野の法務に精通し、ハラスメント相談・対応の実績を多数お持ちの伊藤先生をお招きし、施術者が遭遇しやすいハラスメントに関する概要をはじめ、その予防や対処法についてご講義いただきます。

## ■ 2月14日(日)

(ZOOM 配信も予定しています)

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師・一般対象

## (午前)『鍼灸はなぜ効くのか、鍼灸治療の未来』

講師：北海道大学遺伝子病制御研究所

所長 <sup>むらかみ</sup>村上 <sup>まさあき</sup>正晃 先生

東洋医学は紀元前からの歴史を持ち、現代においても様々な疾患、不定愁訴の治療が行われています。その治療法は多岐にわたり、いずれもこれまでの豊富な経験の蓄積をもとにして発展してきました。近代になり、徐々にその科学的根拠を得ることができるようになってきたことを背景に、それをもとにした現代的な鍼灸治療法も行われるようになりました。

特に最近では、より精密な検査や解析方法、AI の活用が急速に進み、鍼灸をはじめとした東洋医学的な治療効果についてもその機序がより明らかになってきています。

そこで今回は。微少な炎症と自律神経刺激との関係に着目し、免疫システムの最新研究を進めておられる村上先生をお招きし、鍼灸治療がどのように身体に影響を及ぼすのか、そして、これからの鍼灸治療がどのように期待され、活用されていくかについてご講義いただきます。

# （午後）『脳血管障害の最新治療とリハビリテーション』

講師：札幌医科大学保健医療学部作業療法学科

教授 <sup>さいとう</sup> 齊藤 <sup>まさき</sup> 正樹 先生

近年、脳血管障害の死因順位は4位となっていますが、寝たきりの原因としては1位となっており、その患者数は増加しています。その発症から治療、リハビリテーション開始までの時間が短いほど、後遺症は軽く、社会復帰もしやすいといわれています。そのため、いかに早期に発見し、対処できるかが非常に重要となります。

私たちあはき師は、脳血管障害の後遺症に対する施術を行う機会もあり、これらに関する知識を身に付けることが重要となります。

そこで今回は、脳血管障害の診察、治療からリハビリテーションまで携わっておられる齊藤先生をお招きし、脳血管障害の最近の治療法やリハビリテーション、家族との連携などについてお話しいただきます。

## 理療・医療に関する情報収集の注意とヒント

理療・医療に関する情報は、日々刻々と更新されています。膨大な情報にあふれる現在、中には誤った情報も多く、鵜呑みにすることで自身や患者さんに重大な健康被害を起こしてしまう可能性もあります。そのようなリスクを減らすため、正確な情報を収集する方法と活用法についてご紹介します。

### 1 生成 AI を活用する

調べたい情報に関して、どの時点（年）の情報か、どこから（公的機関等）得る情報かを明確にするとともに、ソース（情報源）を明記するよう指示を出します。

ただし、医療専門の生成 AI を使用しない場合は、以下の4点に注意が必要です。

- (1) 専門用語や医学的情報などの理解が曖昧になっている。
- (2) 耳なじみのよい回答表現を使うため、誤情報（ハルシネーション）が混ざる。
- (3) 個人情報扱う機会が増える可能性があり、情報漏洩のリスクがある。
- (4) 日々更新される研究論文を学習しておらず、最新の情報ではない可能性がある。

### 2 公的・公共機関（厚生労働省、大学、病院等）や学会から情報を得る

各機関、学会のホームページでは様々な情報を得ることができます。特に公的機関は国が認めた情報のみを掲載しています。

掲載されている項目や内容が多岐に渡るため、目的の情報にたどり着くことが難しい場合があります。その際は、「知りたい内容（スペース）厚生労働省」という形で検索する方法もあります。また、従前の情報が掲載されたままの場合もあるため、

いつ掲載されたかについて確認することが重要です。

また、『厚生労働省 eJIM（イージム）「統合医療」情報発信サイト』というホームページでは、補完代替医療に関して、根拠に基づいた情報を提供しています。

### 3 ガイドラインを参照する

様々な疾患の研究を行っている学会は、診察、治療に関するガイドラインを作成しています。その内容は、世界中の研究論文の内容を各学会の専門家が精査・整理し、科学的根拠の確かさに基づいて診察法、治療法の推奨度を提示しています。

### 4 医学研究論文を参照する

多数の医学論文を集約しているホームページを活用することで、多数の論文や学会誌等を閲覧できます。会員登録が必要な場合が多いですが、最新の知見に触れることができます。さらに、google の提供している Gemini Notebook に読み込ませることで、論文を要約して聴くことができます。以下の表は代表的なホームページです。

|                                                                                                                   |                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 厚生労働省 eJIM（イージム）「統合医療」情報発信サイト                                                                                     |   |
| <a href="https://www.ejim.mhlw.go.jp/pro/index.html#switch">https://www.ejim.mhlw.go.jp/pro/index.html#switch</a> |                                                                                       |
| 医中誌 web（医学中央雑誌刊行会ホームページ）                                                                                          |  |
| <a href="https://www.jamas.or.jp/">https://www.jamas.or.jp/</a>                                                   |                                                                                       |
| google Scholar                                                                                                    |  |
| <a href="https://scholar.google.com/?hl=ja">https://scholar.google.com/?hl=ja</a>                                 |                                                                                       |
| メディカルオンライン                                                                                                        |  |
| <a href="https://www.medicalonline.jp/">https://www.medicalonline.jp/</a>                                         |                                                                                       |
| J-STAGE                                                                                                           |  |
| <a href="https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja/">https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja/</a>         |                                                                                       |
| pubmed                                                                                                            |  |
| <a href="https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/">https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/</a>                                   |                                                                                       |

## 新着図書紹介

### 【墨字図書】

| タイトル                         | 著者等     | 出版社       |
|------------------------------|---------|-----------|
| 整形外科疾患トレーニングメソッド             | 中宿 伸哉 他 | 羊土社       |
| 運動器疾患の「なぜ？」がわかる臨床解剖学         | 工藤 慎太郎  | 医学書院      |
| 基礎運動学 第7版                    | 中村 隆一 他 | 医歯薬出版     |
| 高齢者の機能障害に対する運動療法 第2版         | 市橋 則明   | 文光堂       |
| フレイル対策実践ガイド                  | 山田 実 他  | 新興医学出版社   |
| パーキンソン病と診断されたら最初に読む運動の本      | 小川 順也   | 日東書院      |
| 肩関節拘縮の評価と運動療法 改訂版            | 赤羽根 良和  | 運動と医学の出版社 |
| 医師・PT・柔整・あはき師のための手技療法学       | 松本 不二生  | 中外医学社     |
| 疼痛リハビリテーション                  | 重藤 隼人   | メジカルビュー   |
| めまい診療ナビ                      | 肥塚 泉    | 全日本病院出版会  |
| 高血圧管理・治療ガイドライン 2025          | ※1      | ライフイン出版   |
| 上腕骨外側上顆炎診療ガイドライン 2024 改訂第3版  | ※2      | 南江堂       |
| 変形性股関節症診療ガイドライン 2024 改訂第3版   | ※3      | 南江堂       |
| 変形性膝関節症診療ガイドライン 2023         | ※4      | 南江堂       |
| 腰部脊柱管狭窄症診療ガイドライン 2021 改訂第2版  | ※5      | 南江堂       |
| 腰椎椎間板ヘルニア診療ガイドライン 2021 改訂第3版 | ※6      | 南江堂       |

※1 日本高血圧学会 高血圧管理・治療ガイドライン委員会

※2～6

日本整形外科学会診療ガイドライン委員会/各診療ガイドライン策定委員会

### 【点字図書】

| タイトル        | 著者等      | 出版社 |
|-------------|----------|-----|
| 東洋医学はなぜ効くのか | 山本高穂、大野智 | 講談社 |

# 各種お知らせ

## I 理療コンシェルジュについて

理療研修センターでは、「理療コンシェルジュ」という取組を行っております。これは、道内の視覚に障がいのあるあはき師の知識・技術の向上をサポートできるよう、様々なサービスを提供しております。

具体的なサービス内容は下記のとおりです。利用を希望される場合は、お早めに電話・メールにてお知らせください。希望日時などを確認のうえ、対応いたします。

日々の臨床に活かしていただくサービスを提供したいと考えております。ぜひご活用ください。

- (1) 施術のブランク解消や新たな技術を身に付けたい方に対し、研修生としてマンツーマンで継続的に研修を行います。
- (2) 所蔵している理療や医療に関する多数の書籍（点字もあります）、雑誌、DVDを自由に閲覧できます。なお、貸し出しは行っておりません。
- (3) 参加できなかった研修講座について、資料を閲覧したり、録音した音声を聴いたりできます（外部講師の講座は了承が得られたもののみ）。
- (4) センター指導員の行った研修講座について、平日にマンツーマンで講義・実習を行います。
- (5) 当センター所蔵の書籍・DVDの検索や代読、図の解説、DVD機器の操作、映像や動きの説明など、利用される方の希望に応じ、学びをサポートします。

## II 公式 LINE 及びホームページのご紹介

理療研修センターでは、公式 LINE アカウントを開設しております。そこでは、年間の研修講座のご案内や各種お知らせのほか、各月の初めと15日にはその月の研修講座のご連絡もさせていただいております。

今後、さらに内容を充実させていきたいと考えておりますので、ご意見やご提案などもいただければ幸いです。

ぜひ以下のアドレスか、右のQRコードからご登録ください。

<https://lin.ee/oydMPAY>



皆様のご登録をお待ちしております。

また、下記ホームページでも講座案内や各種お知らせ、講座の様子（センターニュース）を随時更新しておりますので、ぜひご覧ください。

<http://www.riryo.hokkaido-c.ed.jp/>

## 編集後記

「ひびき第 65 号」を最後までお読みいただきありがとうございました。

8 月 30 日（日）の「北海道マラソン 2026、ボランティアマッサージ」の実施に際しましては、多くの方々にご協力いただきました。この場を借りて感謝申し上げます。

後期は、小児はりやがん緩和ケア、ウェルビーイング、ハラスメント対策など、様々な形で患者に寄り添うための知識・技術を高めるテーマを中心に、あはき師としてスキルアップにつなげられる内容の研修講座を多数計画しています。さらには、昨年「東洋医学はなぜ効くのか」で取り上げられ、話題となった北海道大学の村上先生もお招きする予定です。あはき師の未来を見据え、新たな活躍の場を見つけるためにも、多くのご参加をお待ちしております。

また、理療研修センターに対するご要望や次年度以降の講座テーマの希望、講師の候補等ありましたら、随時お気軽にお知らせください。

今後とも当センターをどうぞよろしくお願いいたします。

発行日：令和 8 年（2026 年）9 月 4 日

発 行：北海道札幌視覚支援学校附属理療研修センター

住 所：〒064-8629 札幌市中央区南 14 条西 12 丁目 1 - 1

電 話：011-533-3253

ホームページ：<http://www.riryo.hokkaido-c.ed.jp>

メール（代表）：[ahaki@popmail.hokkaido-c.ed.jp](mailto:ahaki@popmail.hokkaido-c.ed.jp)



表 紙：第 1 回東洋医学講座『手指鍼の概要と治療の実際』

講 師：神戸東洋医療学院付属治療院 副院長 早川 敏弘 先生

QR コードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。